令和７年度自己評価シート

学校法人北見小林学園　高 栄 幼 稚 園

1、本園の教育目標

本園設立以来、理事長の幼児教育に対する思いを受け継いでいる。
『明るく元気で丈夫な子』『友達と楽しく遊ぶ子』
『心豊かで思いやりのある子』『自分で考え、一生けんめいやりぬく子』
『音楽を愛し、楽器に親しむ子』『国際性豊かな子』とし、その具体化を目指す。

2、本年重点的に取り組む目標及び計画

現在の経営方針としている「安全と創造」を共通の理解とし、子ども達の生きる力・自立力を育てるため自ら行動・発言できるよう働きかける。その為には教師自身が行動、態度で範を示せるよう社会性を身に付けるよう教職員の理解を統一する。併せて、現代幼児の課題、保護者のニーズを確認し次代を担う子ども達の健全な成長に寄与していきたい。

3、評価項目の取り組み状況

評　価　項　目	取　組　状　況
子ども達の自主的生活展開を図るため教職員の共通理解を進める。	クラスの子ども達のみではなく、全ての子ども達にかかわりを持つよう心がけ、毎日保育後の情報交換を行う。 基礎体力つくりの為にも南公園の活用も積極的に取り入れていきたい。
子ども達の自主的生活や安全管理を進める為に工夫をする。	バス運行は原則自宅前乗降とすることで安全運行に徹する。 危機管理を徹底し緊急時の対応の為に赤十字幼児安全支援員の研修を受ける等危機管理の徹底を図る。 なお一層の安全運転徹底を図る。
	子ども達に本物体験をさせる事を目的に事業を積極的に取り入れている。挨拶・基礎体力の向上・異文化交流などの視点から様々な活動を楽しく体験してもらうことを目的とし取り組んでいる。また、異年齢の交流活動（縦割り保育）を考慮し「わくわくランド」また、マーチング・詩吟やマーチング等年長から年中への子供同士の引継ぎなどにより異年齢交流に努めている。 春の家庭訪問・冬期間の個別懇談で保護者と一対一で意見交換の機会を設け、子ども達が楽しく安心して通園できるよう信頼関係を築く努力をしている。他にも電話・連絡帳・お便りなどで日々の情報や様子を伝える努力をしている